



ジュゴン Vol.111

ちゃんぷるニュース

SDCC 2020. 7. 21
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 沖縄県議選—与党過半数維持
- 米国海洋哺乳類委員会へ要請
- 4/5 設計変更広告縦覧へ意見を！
- コロナ対策と日米地位協定
- 6/7 ご協力店ご紹介
- コラム—辺野古異聞(1)
- わんさか通信★ジュゴンのわ



例年、7月号は「じゅごんの里ツアー」(以下ツアー)の楽しい記事が紙面を賑わしていますが、今年はコロナ禍の影響でツアーがまだ実施されていません。

ツアーは、毎年7月上旬頃に行われ、名護市の自然や歴史・文化に触れて学び、通常では味わうことができない貴重な体験が出来るジュゴン保護キャンペーンセンターの人気イベントのひとつです。

2泊3日の日程は、普天間基地の爆音被害や米軍機からの落下事故など、基地被害を学びます。そして辺野古ゲート前で座り込みに参加したり、テント村や地元の方々や仲間同士の絆を深めます。またやんばるの森の散策や辺野古・大浦湾にカヌーやグラスボートで繰り出して自然を満喫し、ジュゴンとの遭遇を夢見ながら、毎年工夫を凝らした充実した内容となっています。

ツアーを開始したころは、平島や長島に渡り、のんびりと弁当食べて、ジュゴンの餌である海草(うみくさ)の観察などして、浜遊びを楽しんだものですが、今では土砂投入で海は破壊され続けています。

あと一息、あと一押しでジュゴンの海は守れる！

ジュゴンBが悲惨な状態で発見されたのは、1年前でした。ジュゴンAやCも行方不明。私たちは「ジュゴンを捜せ！」と、環境省や防衛省に直接働きかけ、官邸前でスタンディングをして抗議行動を続けてきました。

八重山や宮古周辺でのジュゴンの目撃情報に心躍らせることもありましたが、映像などできちんと確認できないままになっています。しかし、最近、ジュゴンの鳴音や食み跡が見つかるなど、嬉しいニュースもあります。ジュゴンは、辺野古の工事が中断する隙をついて大浦湾に来ているように思います。工事の騒音が、ジュゴンを遠ざけているようです。

石破、中谷元両防衛相経験者が、辺野古移設を見直すべきと発言しています。あと一息！

秋田・山口のイージス・アショアは回避された！辺野古だって回避できるはず！！軟弱地盤に基地建設できるはずが無い！！

「ホープ・スポット」と、世界から評価されている辺野古・大浦湾のきれいな海に、ジュゴンが棲み続けられるようこれからも頑張りましょう。
(首都圏 宮城韶子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp

7/12 東京で行われ意見書キックオフ集会 (5面)



コロナ休止明け、土砂搬出再開に抗議する本部町島ぐるみ会議のメンバー (5面)



情勢

国内外から設計変更不承認の声を～ジュゴンの海を守るために～



<設計変更申請の公告縦覧>

公告縦覧が7月下旬から3週間行われます。沖縄の海や環境などに関心ある人・団体は誰でも意見書を出すことができます。具体的には4面を参考してください。沖縄防衛局が4月21日に沖縄県に設計変更申請書を出しました。5月25日、沖縄県が申請書について「土砂の調査場所」「地盤の安定性」「サンゴ移植の影響を」など56項目の補正を求めました。補正された申請書が公告縦覧され、それへの意見書提出が内容審査の始まりです。沖縄県は意見書を集約し、名護市など地元首長や県環境部など関係機関に送付し、調整することになります。申請書の承認・不承認の判断は年を越えると思います。



<三度の工事停止命令>

ジュゴンの鳴音が大浦湾西側の工事施工区域内のK4地点で、2月に3日間19回、3月に5日間23回（うち2日は工事時間帯）確認されました。環境監視等委員会で「ジュゴンの食み跡の潜水調査を求める」との委員の意見に、沖縄防衛局は「無人探査機の調査が終わってから」と拒否。沖縄県も4月以降三度にわたって沖縄防衛局に「ジュゴンの生息範囲の変化の再確認を」求め、工事停止命令を出しましたが、「ジュゴンの保護策は適切」と居直っています。国際自然保護連合(IUCN)が昨年12月「日本産ジュゴ

ンを近絶滅に登録」、「基地建設によるジュゴンの餌場、海草藻場への影響を懸念」と警告しているのですが。

<日米NGOの共同行動を強めよう>

6月24日、米下院軍事委即応力小委員会が「辺野古新基地建設予定地の地震の可能性、軟弱地盤や環境全体に及ぼす影響について国防長官に12月1日までに報告を求める」意見を採択しましたが、残念ながら7月1日米下院軍事委でこの項目が削除されました。ジュゴン訴訟や大浦湾のホープスポット認定を実現してきた日米NGOの闘いが国防総省や連邦議会を動かしています。7月7日、NGO71団体が米国政府委員会の海洋ほ乳類委員会(MMC)に「国防総省が主張する『大浦湾にジュゴンはいない』『基地はジュゴンに影響なし』『沖縄防衛局の環境アセスと工事騒音の影響』を検証することを求める」要請書を提出しました（別項参照）。

安倍内閣の支持率が低下し、自民党防衛族も「辺野古唯一にこだわらない」と蠢いています。公告縦覧で不承認の意見書を数多く出すことは、デニー知事を支え、埋め立て工事の問題点を全国に発信することになります。今こそ、辺野古新基地建設を阻止しましょう。（事務局）

新基地建設反対の闘いで、デニー知事を支えよう！

6月7日沖縄県議会議員選挙がありました。史上最低の投票率46.96%にもかかわらず、与党25議席、野党（自民・公明）21議席、中立（元維新）2議席（定数48議席）と与党が過半数を維持しました。与党は前回より2議席減ですが、30才代の青年、女性議員が多く当選したことは成果です。自民党県連は県議選の公約で久々に「辺野古への基地移設容認」を打ち出しました。コロナ感染拡大下の4月下旬、沖縄防衛局が埋め立て工事設計変更承認申請を沖縄県に提出したことも関係プレーです。菅官房長官は県議選の結果について「かなり基地移設への理解が進んできた」（6月9日朝日新聞）と自賛していますが、公明党、中立の県議員は辺野古新基地建設反対を明らかにしているので反対派は29議席です。

7月1日県議会議長選挙では、与党会派「おきなわ」が自民、中立会派と連携して与党最大会派の議長候補を降しました。

翁長前知事時代にオール沖縄を構成していた「かりゆしグループ」や元副知事・安慶田らが県議会選挙前の3月に「21令和の会」

を結成。菅官房長官と連携してオール沖縄の分断を狙った動きと軌を一にしています。

しかし、辺野古新基地建設反対の民意は変わっていません。選挙直後の6月13、14日に行われた電話世論調査（502人、琉球新報6月17日）では、辺野古新基地建設反対62%、賛成28%（図1）。普天間飛行場移設は「無条件閉鎖・撤去、県外、国外移設」が70%、「辺野古、県内移設」が20%（図2）です。オール沖縄を解体する自民党などの動きを打ち破る力は、辺野古新基地建設反対の闘いです。設計変更承認申請の公告縦覧で、国内外から不承認の意見書を提出しましょう。「展望ない埋め立て工事（軟弱地盤、活断層問題など）に反対」、「ジュゴンを守れ、大浦湾の生物多様性を守れ」の声をさらに広げることで、文字通り「オール沖縄」としての玉城デニー知事を支えましょう。（事務局 蛭川義章）



報告

沖縄・日本の71団体・グループ

米国海洋哺乳類委員会へ要請

2020年7月10日、71市民団体・グループ（フィリピンの1団体含む）は、米国連邦政府の独立機関である海洋哺乳類委員会に対して、沖縄ジュゴンの保護を求める要請文とNGOレポートを含む関連資料を送付しました。SDCCが中心となった今回の取組みに多くの団体・グループが賛同したことは、ジュゴンを守ることが沖縄の豊かな環境や平和な暮らしを守ることに繋がる、という認識が確実に広がっていることを表しています。

要請文では、日本政府の欠陥環境アセスと保全措置を額面通りに受け入れ、辺野古新基地は「ジュゴンには影響がない」としてきた米国国防総省の見解や取組みについて、海洋哺乳類委員会としての独自の検証を求めています。

またNGOレポートでは、沖縄防衛局が2017年2月まで大浦湾で確認されたジュゴンを「嘉陽沖」で確認したとまとめ、生息地としての大浦湾を過小評価してきたことを指摘しています。また、国防総省が工事騒音のモニタリングが必要だとしてきたのにも関わらず、防衛局は「杭打ち」のみを「工事騒音」対象として、工事開始以降6年間もモニタリングを行ってない事実を問題としています。これらの情報はSDCCが粘り強く続けてきた省庁交渉のなかで得られたものです。

昨年12月の国際自然保護連合(IUCN)による沖縄ジュゴンの「Critically Endangered (近絶滅)」という評価。米国で15

年以上続いてきたジュゴン訴訟を通して公になった国防総省の調査報告書。沖縄県知事からの国防総省へ宛てたジュゴン保護を求める書簡。そして日本政府が認めざるを得なくなった軟弱地盤の問題。これら新たな情報と、防衛局の欠陥アセスや不十分な保全措置の情報を踏まえて、同委員会が検証を行い、「影響がない」とする国防総省の見解に疑義を呈すれば、新基地建設中止に向けての更なる取組みが米国や国際社会でも可能になります。

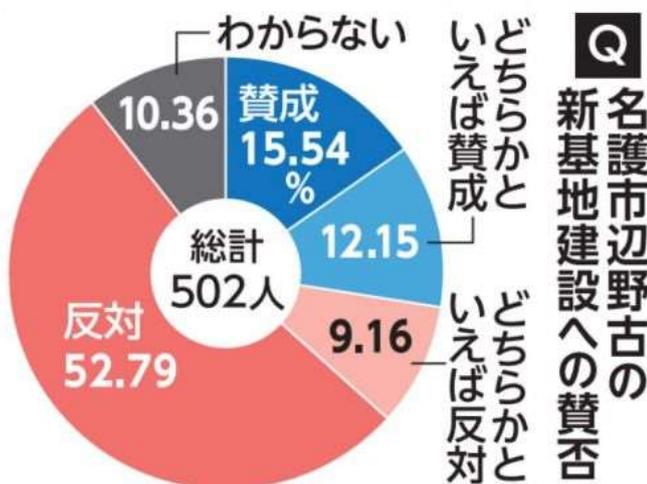
これまで海洋哺乳類委員会は、辺野古新基地建設によるジュゴンへの影響について懸念を示し、その保護に向けて様々な形で関わってきました。なぜなら、米国海洋哺乳類保護法を主管する機関として、国防総省に同法を侵害させてはいけないとする責任と使命があるからです。今回の要請は同委員会に敬意を払いながらの取組みです。

SDCCとしては、今後この要請文とNGOレポートを国際社会に向けて発信し、米国海洋哺乳類委員会が検証を行う後押しとなる状況を作り出していきます。みなさんの応援をよろしくお願いいたします。

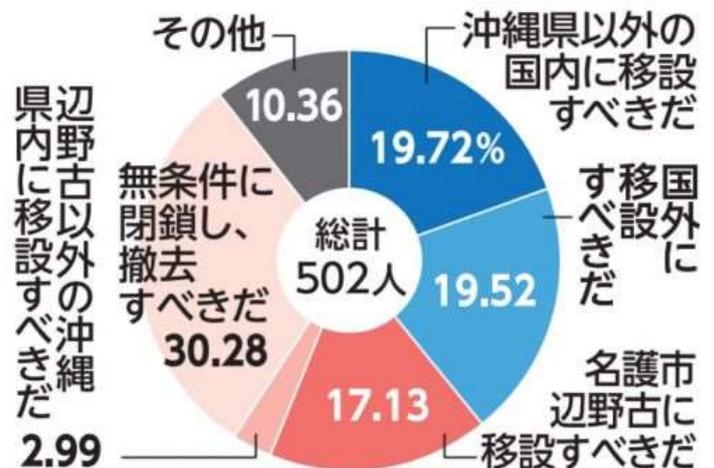
(国際担当 吉川秀樹)



(資料) 琉球新報(6/17)の県民世論調査結果



(図1)



(図2)

設計変更
許さない

ジュゴンが棲む辺野古の海を守るために 沖縄県に「意見書」を届けよう！



絶滅寸前の沖縄のジュゴンを守るためにできることがあります！

2018年8月に沖縄県が埋立承認を撤回した大きな理由の1つが軟弱地盤でした。マヨネーズ並みの軟弱地盤を埋め立てるために、防衛省は7万本もの杭を打ち込んで地盤改良をするといっています。いったいどれだけの環境破壊をするつもりなのでしょう。大規模な地盤改良をするための設計変更には、新たに知事の許可が必要になります。この4月21日に防衛省は、沖縄県に設計変更申請書を提出。県は形式審査終了後、公告・縦覧を実施します。縦覧期間中は誰でも意見書を出すことができます。軟弱地盤・ジュゴン保護・サンゴの移植・巨額の工事費・環境への影響など問題だらけの計画です。意見書を出すことで、県の「不承認」を後押し、「辺野古NO」の民意を示しましょう。1つ1つの意見が大きな力になります。どうぞ同封の意見書ハガキを出して下さい。



《例文》—どうぞあなたの思いを伝えて下さい—

- ・今年の2月、3月、工事が行われている直ぐ近くでジュゴンの鳴声を確認されています。事業によるジュゴンへの影響の再評価をして下さい
- ・ジュゴンが棲む海を守るために海草藻場への影響を明らかにしてください。・軟弱地盤、ジュゴン保護など問題だらけの計画です、不承認して下さい
- ・自然豊かな海を未来へ残しましょう

その他、意見の内容など詳細はブログをご参照下さい

《注意事項》

縦覧開始日は7月下旬頃と思われます。ニュースやブログ等をチェックして下さい。

縦覧期間3週間の間に郵送して下さい。意見書ハガキに切手を貼るのを忘れなく。

※防衛省が提出した「設計概要変更申請書」は沖縄県のHPにアップされています。意見書の様式は、沖縄県のHPからもダウンロードできます。

意見書は、誰でも（個人、団体）提出できます。

（関西 池側恵美子）

☆ 日米地位協定の違憲性をあぶり出したコロナ感染拡大 ☆

外務省は6月19日、緊急事態宣言の解除をふまえて「日本とベトナムとの往来を再開する」ことを発表しました。タイ、オーストラリアなどビジネスに限定していますが、インバウンドによる経済回復を急ぐ政府の姿勢を表しています。しかし、「新型コロナ感染拡大による倒産が1万件、休廃業が2万5千件の見込（帝国データバンク）」にもかかわらず、中小企業や個人事業主への持続化給付金や10万円給付金すらすべての申請者に届いていません。秋にも予想されるコロナ第二波に向けた医療体制の充実（赤字対策など）こそ急ぐべきです。時事通信の5月世論調査（郵送方式2000人：回収率51.3%、6月6日付）では、内閣支持率が38.1%、不支持率が61.3%。コロナ感染対策について「評価しない」は、60.0%、「評価する」は37.4%と、安倍内閣のコロナ対策に不信感が高まっています。

新型コロナ感染で、憲法違反の日米地位協定の新たな問題が明らかになりました。今年3月、感染した米軍人（嘉手納基地所属）の行動歴など詳細が沖縄県に明らかにされませんでした。岩国基地では、新型コロナ感染対策として、基地で働く日本人従業員の子どもらは市内の公立小中学校に登校できませんでした。岩国市では5月7日に授業を再開したのですが、基地関係の子どもら約200人は欠席せざるを得ませんでした。憲法にもとづく教育を受ける権利にかかわる問題です（朝日新聞5月22日）。6月20日、米軍三沢基地は米本土から到着した航空機の搭乗員がコロナ感染していることを明らかにしました。しかし、青森県には感染者数、行動歴などを明らかにしていません（朝日新聞6月21日）。7月1日在沖海兵隊員の家族がコロナに感染したことが明らかにされました。家族旅行で米国から帰ってきたのです（沖縄タイムス7月2日）。第二波にむけ、政府は全国知事会が求める日米地位協定の抜本的見直しを行うべきです。

（付記）7月11日沖縄県は普天間飛行場とキャンプハンセンの海兵隊基地内でコロナ感染者が45人、計61人確認しました。デニー知事は「米軍の感染対策に強い疑念がある」と批判しました。（事務局 蛭川義章）

意見書運動
はじまる

7/12「変更承認申請書」に意見書を！キックオフ集会



7月12日、水道橋の全水道会館で“「変更承認申請書」に意見書を！キックオフ集会”が開催されました。主催は「辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会」（以下「埋めるな！連」）です。SDCCが加盟している「辺野古への基地建設を許さない実行委員会」も「埋めるな！連」の構成団体となっています。

集会には当初、北上田 毅さん（沖縄平和市民連絡会）が参加予定でしたが、コロナ禍のなかで沖縄からのリモート参加となりました。

北上田さんは、「変更承認申請書」の公示・縦覧が7月下旬から3週間の期間、行われるだろうと述べ、「利害関係人」であるならば誰でも意見を届けることができると語りました。また変更承認申請書の問題点として、「先行盛土」について指摘していました。「先行盛土」とは、工期短縮のために、C1護岸の造成中、C2護岸・C3護岸が未設置の状態、水深42mから水深7mの部分まで土砂を投入する（約10ヶ月間）こと。護岸がない中で、海中に土砂を投入することによって汚濁が拡散してしまう。工法的にも海中の盛土は、締固めがで

きず、その上にケーソンを設置することはできない。と語っていました。

結論として、破綻が明らかな沖縄防衛局の変更計画を止めるために、「変更承認申請書」に対して意見を集中しようと呼びかけました。

「埋めるな！連」としても意見書のひな形を作成し、沖縄県知事を激励・バックアップするために、意見書を集中することを参加者全体で確認しました。（首都圏 三村昭彦）



沖 縄

遅れを取り戻そうと焦る防衛局



6月15日、本格的な夏空の到来とともに、コロナ感染症の影響を受け4月18日から休止してきた辺野古埋め立て作業及び埋め立て土砂海上搬出が再開銀行された。

早朝、本部塩川港ではゲートがまだ閉まっている内に台船が着岸し、そくそくと防衛局職員やテイケイ警備員約80名が姿を見せる。県外から来ている彼らの多くがこの間何処で何をしていたのか知るよしも無いが、休止中も塩川港沖などで停泊していた20隻余りの土砂運搬船や台船と同じように業者には税金が流れていると思うと、ますます無駄な建設費用をコロナ対策へ回せとの思いがこみ上げてくる。

午前7時過ぎ、ダンプによる積み込みが開始されたが、作業再開を見込んで駆けつけた仲間達がダンプをブロック。

この間、本部町島ぐるみ会議で新しく作成した幟や横断幕もデビュー。約1時間後県警機動隊がやってきた時点で「接触

を避けるためブロックを解除し、ダンプの走路での抗議行動でできる限り積み込み作業を遅らせる。午後5時には港のゲートが閉まる。途中でも積み込みは終わらざるを得ない。沖縄の長い夏、炎天下、暑さとの闘いも続くことになる。一方、琉球セメント安和棧橋からは再開以降毎日夜8時までの搬出作業が続いている。（沖縄 高垣喜三）

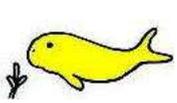


東 京

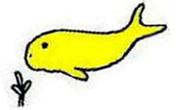
辺野古新基地建設工事再開に抗議する6/15防衛省前行動

辺野古新基地建設工事の再開が強行されたことに抗議する行動が、市ヶ谷の防衛省前で行われました。抗議行動に沖縄選出の伊波洋一参議院議員が参加され「沖縄の民意を無視して許せない。軟弱地盤に基地建設は無理。新基地建設を断念させよう」と発言されました。

参加者から「基地建設を中止して、その莫大な建設費用をコロナ対策の費用に使い」との発言もあり「美ら海を土砂で埋めるな！」の幟旗や「辺野古新基地建設NO!」「沖縄の民意を無視するな」などのプラカードを掲げ、新基地建設反対、美ら海をつぶすな、沖縄の民意を守れ、とのシュプレヒコールで防衛省に向かって抗議しました。土砂投入を阻止し、新基地建設反対の闘いを強めていきましょう。（首都圏 矢敷克子）



募金箱を設置して頂いています！



神戸の元町にあるヘッドスパ専門店のLaugh Basee「」（ee が二つなのと「」が付いているのはこだわりです！）ラフベースは30代の若さでお店を立ち上げ、一人で切り盛りされている谷口喜美さんが経営されているお店です。実は、このお店の立ち上げの際に依頼を受けてパンフレットを作らせてもらいました。

せて頂きました。いつも持って帰るのが大変なくらいのご寄付を頂いています。感謝です！お近くの方は是非！癒されますよ！（関西 上田千鶴）

～・店主の谷口喜美さんからコメントを頂きました～

神戸元町でヘッドスパ専門サロンをしています、Laugh basee「」谷口です。私がジュゴンの会の存在を知ったのは、上田様にご来店頂いて少し経ってからでした。

ひよんな事からジュゴンの話になり、お話しを頂きました。私に出来る事は少ないですが、出来る事があるなら、それが何かに繋がるなら、とお店に募金箱を設置頂きました。募金箱に目を向けるゲストの方が、ジュゴンの会を知れるきっかけになると嬉しいです。

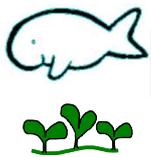
お店はシンプルですが、心のこもった雰囲気のある印象のお店で、人柄がよく出ています。施術中はいろいろなお話をされていて、ある日ジュゴン保護のボランティアをしていること、手作りのジュゴングッズを作って活動費用に充てていることなどをお話ししたらジュゴンの大きなマスコットを注文していただきました。このことがきっかけでジュゴンの存在を知ってもらいたい機会となり、お客様から「募金箱があれば寄付をするのに」ということをお聞きして募金箱を置か



ウェルカムスペースに募金箱を置かせて載っています



ソファの上ではジュゴンがお出迎え♪



5月28日はジュゴンデイ “Dugong Day” on 28th May 2020



インド野生生物研究所のジュゴンチームの方から、FB(フェイスブック)のSDCCグループページに、「2020ジュゴンデー」についての投稿がありました。インドはボン条約(移動性野生動物種の保全に関する条約)・ジュゴン保護覚書の署名国で、インドのジュゴンは野生動物保護法(1972)の下で保護されています。個体数回復プログラムの中には教育プログラムもあり、今年は6歳～25歳を対象に「ジュゴンの日」を祝う絵画、スローガン、クイズ大会がオンラインで開催されました。コンテストのテーマは「Save dugong, save livelihood ジュゴンを救い、暮らしを守る」。保護と漁業者の生計を守ることの両立を図っているようです。

ジュゴンは海草藻場を豊かにする庭師…



イラスト：インド野生生物研究所のFBページ (Endangered Species Recovery Program-Dugong) より

なお、インド動物学調査 (The Zoological Survey of India) のマンナール湾、アンダマン湾などでの調査(2013年)で、確認されたジュゴンは250個体。沖縄ジュゴンのことを考えると羨ましい数字ではありますが、やはり絶滅に瀕しています。海外の活動にも学び、ジュゴン保護を進めていければいいなと思いました。(関西 山根富貴子)



辺野古異聞(1) - ~こらむ・こらむ~

大浦湾の埋立予定地K4沖で録音されたジュゴンの鳴音は、果たして本物か？ 調査会社内部でも意見が分かっているという。これまで記録したどの鳴音にも合致せず、「ブイ」の擦れ音かも？とのこと。また、録音が昼間に集中しているのも、肝心のジュゴンの姿が見えないのも変である。この話を4月に聴いたとき、それは米国のジュゴン訴訟に合わせ、防衛局が（注：ジュゴンに影響はないと）意図的に流した鳴音じゃないかと勘ぐったが、疑念は消えない。

6月7日の沖縄県議選は玉城デニー県政与党が過半を制す。だが、県議会議長は自民の押す赤嶺昇に決定。この赤嶺、翁長知事急逝の際知事選に出馬しようとした要注意人物であった。オール沖縄が後継者選びで苦悩する中、急遽南米出張から戻った新里米吉県議会議長が玉城デニー知事を誕生させ、赤嶺の野心を砕いたいきさつがある。元々オール沖縄の知事に翁長雄志を擁立したのも新里米吉であった。しかし、米吉は今期で引退。その誉れある県議会議長の座を赤嶺昇に奪われるとは、何たるレベルの低さだ。

6月23日、コロナ禍で平和音楽祭も集会も中止。朝、NHKラジオ第一で「月桃」が全国に流れ、琉球朝日放送「10時チャーまで待てない」で「月桃」を歌うも、寂しい慰霊の日であった。翌24日・陰暦五月四日は、例年龍宮神を祭る爬竜船競漕が各地で行われる日であるが、それも中止。ただ平安座島では、龍宮神に平穏と豊穡を祈る御願パーリーのみが行われ、神役を務める。所が船に印されるべき肝心の三つ巴の象徴も無く、龍宮神信仰の形骸化に愕然。未だ辺野古新基地建設強行の安倍神道を撃退できないのも、ジュゴンと天皇の歴史的対立を理解しないからである。

翌25日、米吉と二人で辺野古へ。ゲート前にH氏が居た。H氏を元軍属とばかりに思っていたが、どうやら、ハーバード士官学校出の現役のグリーンベレーらしい。震度1でも護岸が崩れると騒がれる軟弱地盤が何故そこに存在するか？との彼の話が面白い。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

*（注）は事務局で補足しました

わんさか通信 ★ ジュゴンのわ

目指せ1勝！

思い起こせば〇十年前、私も甲子園を夢見る女子高校生の頃がありました。必勝祈願の千羽鶴を一生懸命折っていたっけ・・・。地区予選開会式の選手宣誓で、どこかの学校の選手かは忘れましたが「目指せ1勝！目指せ甲子園！目指せ深紅の優勝旗！！」と力いっぱい宣誓した言葉は〇十年経った今でも胸に残っている。

今年の夏はコロナの影響で全国高校野球選手権は中止となり、高校球児が肩を落とし泣いているニュースに胸が痛んだ。もちろん野球に限った話ではない。まさかこんな年になろうとは誰も予想していなかっただろう。

代替策として沖縄でも7月4日から高校野球夏季大会が始まりました。三年生の出場機会を増やすためベンチ入り人数を増やすなど特別対応はあるものの、応援スタンドへの入場制限（三年生の保護者のみ）や開会式の中止など諦めなければならぬ事は多い。少しでも今までの想いが燃焼できる事を願います。決勝戦は8月2日名護のスタジアムで開催予定です。

（沖縄 小平裕美）

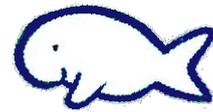


『密です！』

我先にと、羽化を目指して密になる抜け殻の列・・・

INFORMATION

《 今後のスケジュール 》



・2020ZENKO IN 大阪 (場所 エルおおさか)

7月25日(土) 13:30~16:30 メイン集会(エルおおさか エルシアター)
18:00~20:00 コンサート(剣崎公園)

7月26日(日) 10:00~12:00 分科会 SDCCは第10分科会「設計変更申請却下へ! 政府は工事を中止しジュゴンの調査を行え」を開催 エルおおさか 研修室1

25日のコンサートと26日の分科会に海勢頭豊 SDCC 共同代表が参加します。

ZENKO に関する詳細は、<http://www.zenko-peace.com/> を参照お願いします。

首都圏は飯田橋のSDCC 首都圏事務所リモート参加します。

・Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション 結成6周年集会 講師 北上田毅さん(沖縄平和市民) 連絡会

8月23日(日) 13:30 開場 14:00 開会 場所 福島区民センター(阪神および地下鉄千日前線 野田駅下車)

SDCCも参加する大阪アクションの講演会です。北上田さんのお話をぜひ聞きに来てください。

上記以外の行動はコロナ感染状況を見ながら、適宜 website、ブログ、SNS で告知いたします。

コロナ禍から考える 辺野古の海を守ること

コロナ禍で世界中があたふた、先行きが見えず、人やモノの流れが制限される中、足元の暮らしを否応なく見直させられる。人間の経済活動が制限されると、世界中の空がきれいになったなんて…。CO2 排出も減ったとか。グローバル市場経済の脆弱さを考える。何でもお金に換算する、命さえも、そんな世界はとても嫌だ。経済はグローバル化したけれど、人々は分断され格差は広がるばかり。資源や食糧を海外に依存している日本は危ういなあ。食糧自給率40%なんて、考えたら本当に恐ろしい。開発、開発と海や森を壊し続け、辺野古の海ではジュゴンは絶滅寸前です。

私たちは、傲慢になり過ぎたんじゃないかな。限りある地球の中で、無限の経済成長なんてありえない。神様の領域、動物(自然)の領域、人間の領域、バランスを崩している。遺伝子操作、AI、はてはAI兵器、いったいどこまでいくのか。はたしてそれは幸せなのか? 生きていくのに必要なのは、安全な空気、水、土(食べ物)、とてもシンプルだと思う。

自然崇拜、平和思想が失われつつあるような世界に、龍宮神(ジュゴン)信仰、絶対平和思想を取り戻したいと願う。『命どう宝』沖縄でおばあに教えてもらった、この海があったから生き延びてこれたということ。自然豊かな辺野古の海を守ることは、命を守ること、未来を守ること、そう思っています。(関西 池側恵美子)



6月28日、SDCCも参加する、Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクションで奥間政則さん講演会を開催しました。活断層、軟弱地盤、先島諸島自衛隊基地建設とのつながりなど、縦横無尽にお話しされました。

Editor's Note

医療現場と休業補償に金は出さない。コロナ禍での首切りにも歯止めもかけない。それでF35を百機購入し、「敵基地攻撃能力」を検討する。辺野古の工事も止めず、米軍基地でのコロナクラスター発生に無策。どこへ「Go To」せよというのか? ジュゴンを守ろう! 地獄行きはまっぴらである。(松島洋介)

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.111 2020年7月21日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号 京橋ベース
(旧野口ビル) 302号 TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!